

小児がんの子どもの教育セミナー

平成29年10月に閣議決定された「第3期がん対策推進基本計画」の中で、小児・AYA(思春期・若年成人)世代のがん患者のサポート体制、特に高校教育の段階での取り組みが遅れている現状に触れ、入院中・療養中の患者に対して、教育現場や地域社会での受け入れ体制整備が求められています。

そのための施策として、医療従事者及び教育関係者の連携を強化し、両者一体となって療養中の生徒に対する教育支援の充実に取り組む必要があります。

今回、「長期入院患者の高校教育」をメイン・テーマとして取り上げ、教育関係者、医療従事者、患者とその家族など様々な立場の声を共有することを通して、小児がんをはじめ長期入院を必要とする患者が治療を受けながら安心して学業を継続できるような教育環境の整備に向けた連携の場とすることを目的としてセミナーを開催します。

開催日時 ▶ 平成30年8月18日(土)13:30～16:30

開催場所 ▶ 広島県医師会館 2階 201会議室
〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号

参加対象者

- ▶ 広島県内の小・中・高等学校および、
特別支援学校教員、養護教諭等
- ▶ 教育委員会等の教育行政関係者
- ▶ 小児がん医療に携わる医療従事者
(医師、相談員等)

広島大学病院
(小児がん拠点病院)



主催 広島大学病院 (小児がん拠点病院)
共催・後援 広島県, 広島県教育委員会, 広島市教育委員会

プログラム

13:30 開会のあいさつ 広島大学病院 小児科 教授 小林 正夫

- 第 1 部 -

テーマ:長期入院患者の高校教育を考える

司会 広島大学病院 小児科 教授 小林 正夫

13:40 講演1 「広島大学病院での取り組み」
広島大学病院 小児科 臨床心理士 井上 雅美 先生

14:10 講演2 「難病学生の教育と人権」
難病学生患者を支援する会 久保田 一男 様
久保田 鈴美 様

14:40 休 憩

- 第 2 部 - 座談会

14:50 小児・AYA世代のがん患者が、長期入院中においても適切な教育を受けることができる環境を整備するために必要なサポート等について、小児がん経験者とその家族による座談会を通して、参加者を交えた意見交換をいします

16:20 閉会のあいさつ 広島大学病院 小児科 診療准教授 川口 浩史



参加申込書

平成30年8月18日(土) 13:30~

広島県医師会館 2階 201会議室

送付先: E-mail byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp
(送付状不要)

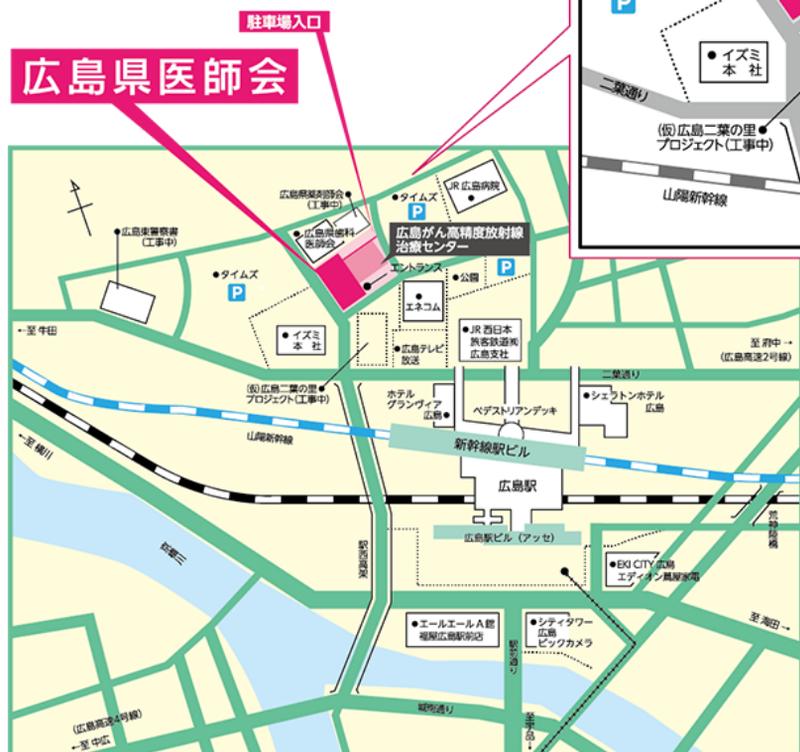
FAX 082-257-1720

機関名	
-----	--

参加予定者

	氏名	カナ	職名
1			
2			
3			
4			
5			

医師会館MAP



※駐車場は有料となりますので、公共交通機関でお越し下さい。

JR広島駅
新幹線口から
徒歩約5分